

広報たかなべ

2012. 3. 16 NO. 375



- ・特集① 高鍋町名誉町民 上條勝久氏 ご逝去
- ・特集② 高鍋キャベツと高鍋白菜のおはなし
- ・おもいやり駐車場制度がはじまりました
- ・お知らせ ・ご報告
- ・春を呼びこんでくれた選手たち
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

2月5日、高鍋町中央公民館で行われた「第21回 石井十次顕彰のつどい」で高鍋西小学校児童による発表がありました。5年生は『十次先生に想う』をテーマにした詩の群読、6年生は児童劇『岡山の大洪水』と資料発表を行い、ひたむきに取り組むその姿は、来場者に大きな感動を与えてくれました。

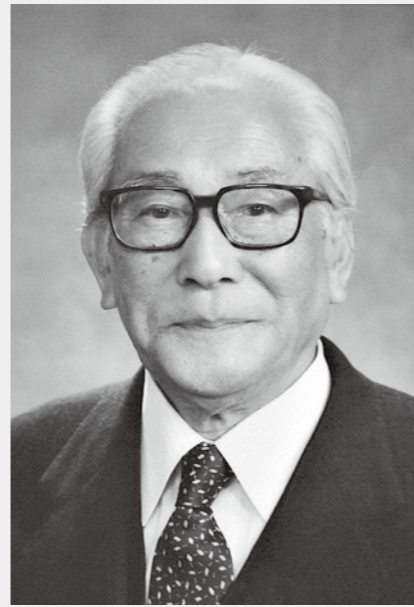
高鍋町名誉町民 上條勝久氏のご逝去

お人柄を偲んで

高鍋町名誉町民の上條勝久氏が、平成二十三年十二月二十七日、ご逝去されました。百一歳でした。生前のご功績の数々に對し、深く感謝の意を表すとともに、御霊のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

♪ 花摘む野辺に 日は落ちて
みんなで肩をくみながら
唄をうたった 帰りみち
幼馴染の あの子の友
ああ 誰か故郷を想わざる ♪

右は『ふるさとを遠く離れると、友と遊んだ野山などをよく回想する。人は皆いつまでも故郷を想うものだ』という想いが詰まった、故古賀政男氏作曲の歌「誰か故郷を想わざる」の一番。この歌は、ふるさと高鍋をこよなく愛した上條さんのテーマソングでした。



明治43年高鍋町生まれ。宮崎県庁、内務省・建設省、財団法人全国建設研修センター理事長などを経て参議院議員を2期務める。平成18年10月に高鍋町名誉町民(第6号)推戴。

高鍋町葬執行にあたり

高鍋町長 小澤 浩一

高鍋町名誉町民の旧建設省建設大学校初代校長、元参議院議員の上條勝久氏が、昨年12月27日に満101歳でご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

故上條氏は、明治43年中鶴に生まれ、旧制高鍋中学校卒業後、宮崎県庁、内務省、建設省等に勤務され、戦災復興をはじめ、一貫して街づくり行政に携われ、日本国土の復興と都市整備にご尽力されました。

また、藩校明倫堂の精神を基に、『国づくりは人づくり』であるとの崇高な理念のもと、全国建設研修センターや国土建設学院等を設立され、人材育成にご尽力されました。

特に、高鍋町においては、小丸川・宮田川の一級河川への昇格や国道10号バイパス事業などの大規模な道路改良工事、高鍋町営野球場設置などにご尽力され、現在の高鍋町の都市基盤の基礎をつくられるなど多大な功績を残されました。

このように、本町発展に尽くされた多大な功績に對し、平成18年に高鍋町名誉町民の称号を贈られました。

故人のご遺徳をしのび、町葬を次の通り執り行いますので、町民の皆さまのご参列を賜りたいと存じます。よろしくお祈り申し上げます。



舞鶴公園内に同窓生らが建てた墓碑。上條さんは、子どものころから好きだった城跡を詠んでいる

●高鍋町葬について

- ▲とき 4月21日(土) 午前10時開式(午前9時受付開始)
- ▲ところ 高鍋町中央公民館



名誉町民称号贈呈式

郷土宮崎のために奔走された上條さん。そのためか、建設省官房課長当時、時の石破次郎事務次官(石破茂元防衛庁長官の父)から「君は郷里宮崎の上條か、建設省の上條か」と言われた、というエピソードが残っているほどです。ここで、ふるさと高鍋への想いが詰まった、昭和五十六年の読売新聞掲載の「町制施行八十年に寄せて」の寄稿文と高鍋町に對するご功績の一部を写真でご紹介します。

ふるさと高鍋に寄せて

高鍋町の町制施行八十年といえば、私より十年早い誕生である。全国二〇〇余町の中でも古い伝統をつぐものとしては横綱級であろう。

自然の風土といい、優れた歴史的遺産といい、この環境から生まれた精神文化と教育への情熱はもろろん、人情の豊かさからいっても、これまた日本一ではないだろうか。その源は一口で申すと、藩時代の明倫堂教育にある。「人倫を明らかにし、礼儀を尊び、空理空論を避け実践躬行する人物を養成する」ことを人生の訓えとして、国会に議席をいただいている私はいつも強く心に銘じている。

かつてふるさと高鍋からはこの訓えを体して、幾多の人材が輩出した。上杉鷹山公、石井十次先生等、教科書にも出てくる大人物をはじめ、秋月種樹公及び三好退蔵、秋月左都夫、鈴木馬左也、小澤治三郎等多くの国家的人物は日向灘の潮騒や小丸川のせせらぎを子守唄に育ち、尾鈴の連山を仰いで天下国家を論じ、ひたすらに明倫の精神によって、自我の完成を目指して国の発展に貢献した。この事実を私どもは決して忘れてはならない。

“わが先哲のともしたる、明倫堂の灯はもゆる、あゝ高鍋は文教の、精神に強く生きる町”町民歌の一節である。伝統ある人育ての教育精神を継承していこうとする意欲あふるる名歌詞としてこよなく愛せずにはいられない。

今や二十一世紀へ向かって、新しい地方時代の諸施策がいろいろと推進されようとしている。住む人の心や自然も変らざるを得ないだろう。忘れてはならないのは、これからは物より心の時代ということである。その意味からも明倫堂の材の輩出が今日ほど大きく期待される時代はないのである。

ふるさと高鍋は、この八十年を機として、物質文明の間われる中で、いよいよ明倫の初心に徹し、精神文明のいかに大切かをかみしめ文教の町に相応しい真の人育てに、町民を挙げて情熱を燃やされんことを心から希うものである。

参議院議員 上條勝久 (昭和五六、七、二五読売新聞)

厳しさの中にも大きな優しさを持ち、そのお人柄で作られた広い人脈。国家社会に貢献した功により勲二等旭日重光章叙勲を授けられた上條さんのエピソードは多数。その一部をご紹介します。

高

鍋町中鶴に生まれ育った上條さんは、父を中学校時代に亡くしてから大学進学を断念し、宮崎県の臨時職員となります。その後、正職員となり担当したのは県営電気事業の小丸川開発に伴う買収交渉。そのときの交渉相手は、かの有名な新しき村の武者小路実篤氏でした。交渉が難航されると踏んだ上條さんは、新しき村に住み込み、武者小路氏と生活を共にします。認められた上條さんはいかに水没補償の調印を済ませ、当時の相川知事から大変感謝されたといわれています。

就

任と同時に町営野球場建設構想を持った当時の柿原政一郎町長は、その建設のため、国の失業対策事業予算の獲得に当時の尾崎一男助役を建設省へ送りしました。しかし国においては無名の尾崎さんは門前払いを受けましたが、翌日、建設省勤務の上條さんと一緒に再訪問すると、失対努力延べ一万人の予算を付けられ、それが町営野球場建設に大きく役立ったそうです。



町民に親しまれている町営野球場

「明

倫」。この響きと言葉の持つ意味を大事にされていた上條さん。高鍋藩のシンボルとされていた明倫桜(いつからかそう呼ばれていた)は、上條さんが設置に大きく関わった建設関係の教育機関や、国会議事堂の前庭にも植樹されているほか、舞鶴公園内にも寄贈されています。また前出の教育機関の法人名を「学校法人明倫会」と名付けられてもいます。



舞鶴公園に寄贈された明倫桜

「二

の間(大分―宮崎)は全くの空白です。次の総会までにはぜひ、ここに線を入れてください。

この言葉は、昭和六十一年の国土幹線自動車道総会閉会の際に、壇上に駆け上がった上條さんが、正面の高速道路地図に赤チョークで線を引いて出席者へ高速道路建設をアピールしたときの言葉です。まさに東九州自動車道建設計画に火が灯った瞬間でした。

【取材を終えて】

昨年の町制施行一〇周年記念式典に出席された上條さん。高鍋が近づくにつれとも元氣になられ、到着するや否や「高鍋の今の人口は？」と問われたそうです。このお話を伺ったとき、ふるさと高鍋への深い想いを感じました。高鍋町で今を生きる私たちは、大先輩の真の想いを受け継ぎ、明倫の精神をもって人を育てていく責任があるような気がします。上條勝久さん、深く大きな愛をいただきました。ご冥福を心からお祈りいたします。

●東九州自動車道の整備に尽力



東九州自動車道高鍋IC～西都IC間が平成22年7月17日に開通

●国道10号バイパス事業の予算化に尽力



建設中の国道10号(昭和40年に開通) 昭和38年当時(中鶴地区)

●小丸川の国直轄河川への格上げに尽力



一級河川となり、安全対策が向上した小丸川

高鍋キャベツと 高鍋白菜のおはなし



キャベツ

宮崎市方面から国道十号を北上していくと、左に宮崎県の観光遺産に指定された高鍋大師と持田古墳群が見えてきます。

その高鍋大師から東に見下ろせる、道路の拡幅が行われたばかりの交差点を北方面へ上がっていくと、一気に視界が開け、秋から春にかけては、緑が一面に広がる野菜畑が見えてきます。

そこは高鍋町染ヶ岡のキャベツ・白菜畑です。

太陽の光を浴びながら、生産者の愛情も重なってきらきらと輝く緑色の野菜たち。その見事なまでの整然とした並びと葉のツヤには思わず見とれてしまいます。

ちよつとかじつてみたら、キャベツは甘さを、白菜はシャキッとしたみずみずしさを感ずることができ、どちらも何とも言えない美味しさでした。

姿も味も良く、凛とした気品さえも感じられる高鍋のキャベツや白菜たち。

彼らがここまで育ってきた歴史や彼らを育てる生産者の想いを、皆さんにご紹介します。

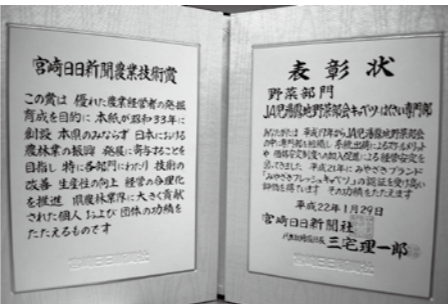


白菜

高鍋産キャベツについて

高鍋産冬・春キャベツは、九州でトップクラスの生産高を誇ると同時に、「みやざきフレッシュキャベツ」として鮮度認証を受けています。

また、JA児湯露地野菜部会キャベツ・はくさい専門部が平成二十一年度「宮崎日日新聞農業技術賞」を受賞するなど、各方面で高い評価を受けています。



キャベツ・白菜生産農家の永友孝幸さんは「十一月から六月上旬まで途切れないように出荷を行います。親の代から数えると五十年以上農業をしており、ここ十年ぐらいは集中してキャベツや白菜を作っています。出荷する時は一個一個丁寧に箱詰め作業を行うので大変ですが、今は高鍋産キャベツの質を高く評価してもらえているので、農家も一生懸命です。また、喜んでもらえるのはとても嬉しいですね」と話しました。



高鍋産キャベツ・白菜の歴史

今は高鍋町の代表的な特産物の一つとして挙げられるキャベツと白菜。では、いつごろから栽培が盛んになってきたのでしょうか。

高鍋町史によると、高鍋町の野菜栽培について「宮崎県は、各種野菜の好適地であるが、交通運輸・栽培技術の未発達の大正期までは、県外移出はあまりふるわなかった。しかし、大正十二年

の日豊本線開通などにより販路が広がり、遠距離輸送のきく大根を加工した千切り大根やカボチャなどが重要な移出生産物となった。昭和になるとキュウリやトマト、ピーマンなどが生産されるようになった。露地野菜については、家床白菜出荷組合と「棚（かねもち）白菜組合が良きライバルとして白菜を生産し、宮崎・延岡・日向の全市場をにぎわしてきた」とあり、二つの白菜組合の活躍により、高鍋の露地野菜の評価がぐんぐんと上がっていったことがうかがわれます。その功績を後世に語り継ぐために家床公民館前に「白菜の碑」が立てられています。碑文には次のように刻んであります。



我が家床区は早期水稲後地緑化対策として、昭和三十七年春白菜の生産出荷組合を結成した。以来優良品種の導入、肥培管理技術の向上に努め、共同出荷共同精算の方式をとり、協力一致年毎に生産増強の実を挙げてきた。

この間、悪天候や病害虫と闘い、生産資材の高騰、市価の不況など様々なる苦難を克服して、和衷協力の態勢を益々強固なものとしてきた。

家床特産④(マルイ)白菜と銘うって延岡・日向・宮崎をはじめ、遠く県内外各市場にまでも清浄野菜の供給に努め、大いにその名声と信用を高め、家々の生活をも豊かにしてきた。

これひとえに組合員一同の融和協力の賜物、たゆまぬ研究と努力精励の成果であることを銘記して益々の発展を祈念してこの碑を建てる。

昭和五十六年一月一日

資料提供：高鍋町史・町産業振興課
(単位：戸・アール)

年	キャベツ		白菜	
	農家数	作付面積	農家数	作付面積
昭和 4 0	332	449	1,079	1,768
4 5	267	450	823	2,528
5 0	241	861	576	2,566
5 5	139	1,373	367	2,478
平成 2 2	60	10,000	55	7,400

「私は十五歳から父の農業を手伝い始めました。そのころうちは、日向黒皮南瓜を一反か二反作っていました。近くのばあちゃんがりやカーに白菜を載せて高鍋の町に歩いて売りに行っていたのを覚えてます。その後早期水稲を始め、八月中ごろには田んぼが空いたので白菜を植え始めました。しかし、湿田ではなかなかうまくいかなかったですね。それから改良を重ね、質のいい白菜が採れるようになり、三輪車を購入してからは延岡や日向などに売りに行きました。延岡は旭化成の効果で人口も多く、野菜は飛ぶように売れました。今のようなきれいな道路ではなかったために運搬に苦労したものの、売れた喜びが大きく組合員皆で頑張りましたね。そして、昭和四十八年度に着工した県営『お染ヶ岡特殊農地保全整備事業』によって完成した畑地のおかげで、農業生産力の向上が図られて、生産高がアップしました。しかし、当時私は理事でしたので整備に係る説得交渉には苦労しましたが」と当時を懐かしんでいました。



この碑を立てた組合員の一人で、現在、小丸川土地改良区理事長の永友國起さん(77)は当時の苦労や喜びなどを次のように話しました。

昔は大雨が降ると黒い濁流が流れ、畑を洗い、滞留して池のようになるところもあったという染ヶ岡の台地。現在の素晴らしい生産地となった陰には、先人の大きな努力が隠れているようです。

《次のページへ》

生産者の元気な取り組みや明るい話題が まちを元気にしてくれています



子どもたちに説明をする橋本さん(左)



トラクター乗車体験をする子どもたち

キャベツ・白菜生産者など地域の皆さんでつくる染ヶ岡地区環境保全協議会などが主催して、畑の土壌改良用ひまわりを活用した「ひまわり迷路」が平成二十二年度から登場し、夏は家族連れの元気な声でにぎわっています。

主催者の一人である橋本重美さんは「口蹄疫からの復興を兼ね、たくさんひまわりを植えて迷路を作りました。子どもが喜び、まちが元気になり、景観もよく、畑も元気になるこの取り組みを、今年も生産者をはじめ地域が一丸となってやります」と笑顔で話しました。

ひまわり迷路に元気な声が響きます



迷路で走りまわる子どもたち



町内の地場産品販売



女性が外に出て
元気になるれば、
さらにパワーアップ
できる！

「お客さんと顔を合わせて意見を聴くと、意識が変わるのです」と話すのは、生産農家の大脇直美さん。「以前の産地PRや販売と言えば男性が出かけていたものです。でも今こそ女性が外に出てステップアップする時期だと感じ、大分県内デパートや県庁楠並木通りで年に数回試食販売を始めました。この取り組みは、キャベツPRをはじめ、生産者同士やお客さんとのつながりにも効果が出てきています。女性が積極的に外に出ることは、息が長い産地構築への第一歩だと思います」とも生き生きとした表情で話しました。



新郎新婦
初めての共同作業
「キャベツ
入刀です♪」

こんな微笑ましい結婚式を挙げたのは、昨年2月にご夫婦となったキャベツ・白菜生産農家の永友富士男さん・愛さん。普段から収穫に使っている包丁にリボンをかけ、自分の畑で収穫したキャベツに入刀したそう。このお茶目な企画を提案したのは宮崎市内からお嫁にきた愛さん。「夫婦でキャベツや白菜を作ることができ、とても幸せです。白菜は水分が多いと言われますが、炒め物に使ってもとても美味しいだけです。これからもっと料理を勉強します」と幸せそうに話しました。

【取材を終えて】

実は広報担当になるまで染ヶ岡の台地の素晴らしさを知りませんでした。今回の取材で、三年前の、高鍋にもこんなに広いところがあったのかと感動した記憶がよみがえりました。

秋から春の収穫時期には、質の良いキャベツや白菜を消費者に届けたい、夏は、ひまわり迷路で子どもたちやまわり全体を元気にしたい、そんな生産者の想いを強く感じるようになりました。

また、このような積極的な取り組みを今の生産者ができるのは、先人の苦労があったからこそということも分かりました。

私たち消費者は、生産者の心からの想いを感じながら、安心・安全な地域の農作物に関心を持ち、値段だけにとらわれない購入をすることがとても重要なのではないのでしょうか。

高鍋のキャベツや白菜には、安心・安全であることはもちろん、生産者の愛情がたっぷり詰まっています。高鍋町の大事な特産物として、今後はさらに町民全体で盛り上げていきたいと思います。



現状

二十年ほど前までの高鍋町の冬の光景の一つとして、日だまりに漬物用の白菜が並べて干してあったことを思い出します。秋冬白菜の需要が高かったころです。

しかし、核家族化など家族形態の変化や、住居形態の変化により、白菜の漬物を大きな樽で作ったり、鍋料理等で白菜を丸ごと使うことが少なくなり、秋冬白菜の消費が減ってきているのが現状のようです。



前ページに書いたように高鍋産キャベツは、各方面で高い評価を受け、市価もある程度は安定しています。しかし、近隣の露地野菜の生産高アップや秋冬白菜の需要減少等により、生き残るための新たな取り組みの必要性が出てきたのです。

このような中、生産者による新たな取り組みが春白菜生産です。

春白菜への取り組み

春白菜とは、四月下旬から出荷を始める白菜のことです。九州では鹿児島や熊本で生産をされています。



高鍋出荷組合の永友定己さんは「春白菜のいいところは、市場の量が少ないので高価であること、定植してからすぐパサライト(保温と防虫のための被覆シート)をかぶせるので、農薬はほとんど使わないこと、などが挙げられます。育苗時に温室に置いておく必要があるため燃料代はかかりますが、収穫までに人の手があまり要らないのは大きなメリットです。今年には十二人が作っています」と話しました。

～ 春白菜のご紹介 ～



(十二月中旬) 播種

温室内で育苗



(二月中旬) 定植



(三月中旬) パサライト被覆



大脇 幸広さん
キャベツ・白菜生産農家

4～5年前ぐらいに仲間と試しに植えてみようか、ぐらいの気持ちで春白菜を作ってみました。作ってみたら「なかなかいいね!」ということで、毎年作り始めました。春白菜は、秋冬白菜と違って確かに資材費はかかります。しかし、病気や虫の心配をしなくていいのはとてもありがたいですね。今後はキャベツ同様、質の良い春白菜を一生懸命に作っていくつもりです。



鍋島 史樹さん
キャベツ・白菜生産農家

私は、県立農業大学校を卒業後、民間を経て宮崎県農業試験場に非常勤として勤務していましたが、4年前に父が病気で倒れ、農業を始めました。うちは家族経営ですので、春白菜のように人の力が省力化できるのは魅力的です。しかし、メインはやはりキャベツ生産。今後は、多くの先輩方から学びながら高鍋のキャベツと白菜の質を守っていきたくいですね。

The Interview

白菜はスグレモノ!!

白菜はくせのない淡白な味で、他の食材と調和がよく、調理法を選びません。約95%が水分なので、栄養価が高いというわけではありませんが、ビタミンCをはじめ鉄やマグネシウムを含み、食物繊維が多く低カロリーな食材です。

簡単に高カロリーの美味しいものが手に入る現代、肥満防止の食材としてはもってこいの健康野菜のようです。

- ★メラニンの生成を予防するビタミンC。肉や魚などのたんぱく質と一緒にとるとコラーゲンが作られ、ツルツルお肌に♪
- ★食物繊維が多いから便秘の解消になります♪



～お知らせ～

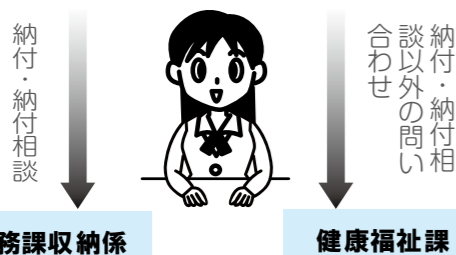
保育料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付窓口が変わります

平成24年4月1日から、保育料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付窓口が健康福祉課から税務課へ変更になります。よって4月1日以降の納付や納付相談等につきましては、税務課収納係で受け付けます。

なお、納付以外の業務につきましては、これまでどおり健康福祉課で行います。



保育料・介護保険料・後期高齢者医療保険料



高鍋町初の「町人会」
「近畿高鍋会」設立されます！

昨年10月に関西地区在住の高鍋町出身者をメンバーとした町人会設立準備委員会が立ち上がりました。現在は、100人近くの方に入会の賛同をいただき、5月19日に設立総会を開催する予定です。

町人会は、同郷出身者が「ふるさと高鍋町」への想いや昔の思い出などを語り合える唯一の場所であるとともに、新天地での生活に不安を抱いている方の身近な相談場所にもなりうるのではないのでしょうか。

入会は随時受け付けています。次の方がいらっしゃいましたらぜひ情報をお寄せください。

- ・高鍋町出身で、現在、関西地区在住の方
- ・4月から就職や転勤、進学などで関西地区（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県など）に居住する方

◆お問い合わせ

高鍋町 政策推進課
TEL：26-2018



宮崎県大阪事務所での打ち合わせ

～ご報告～

学校教育・生活環境が整備されました

23年度、町では新田原関連再編関連特別事業（再編交付金事業）を利用し、教育環境や生活環境の向上、地域活性化を図るための各種事業を行いました。

◎学校備品整備事業（写真①）

東西小学校の机・椅子を更新

◎塵芥収集車整備事業（写真②）

ボランティア清掃活動などに利用するゴミ収集車を更新（1台）

◎地区公民館改修事業

市の山地区公民館（第一種防音区域内）の床段差解消等バリアフリー化

◎下永谷（3）線整備事業

国道10号から下永谷地区への生活道路を拡幅整備

◎特産品開発支援事業

農産物加工施設建設のための実施設計



平成23年度「たかなべ未来づくり事業」が盛況に開催！

町民の提案による公共・公益性の高いまちづくり事業に町が予算を付けて町民が実施する「たかなべ未来づくり事業」が今年度から始まりました。

23年度事業は次の通りです。

①蚊口浜子どもサーフィン教室

NPO法人 AI

- ▲参加者 59人（2日間）
- ▲補助額 500,000円

②町中にミールの音楽を！小さい人たちと高齢者に！

NPO法人 野の花館

- ▲参加者 885人（12回のコンサート）
- ▲補助額 346,500円



◆お問い合わせ

高鍋町 政策推進課 TEL：26-2018

おもいやり駐車場制度が始まりました

制度概要のポイント

宮崎県が平成二十四年二月一日からスタートした「障がい者用駐車場利用証制度（おもいやり駐車場制度）」は、県内の商業施設、病院、官公庁などに設置された身体障害者用駐車場等を、本当に必要な方が駐車スペースとして適正にご利用いただけるようにした制度です。

四つのポイント

- ①身体障害者用駐車場を利用できる方が明確になります
- ②利用証の掲示により、不適正利用を防止できます
- ③身体障害者用駐車場の適正利用への理解が深まります
- ④妊産婦など一時的に歩行が困難となる方の駐車場確保が図れます

利用証の種類

車いす利用者用（赤）、障がい者・高齢者・難病患者用（緑）、妊産婦・けが人用（オレンジ）の三種類があり、色分けがされています。



妊産婦・けが人用（オレンジ）



障がい者・高齢者・難病患者用（緑）



車いす利用者用（赤）

利用証の申請について

利用証交付基準の確認のための書類（身体障害者手帳や母子健康手帳など）が必要です。

▲申請受付窓口（高鍋町内）

- ・児湯福祉事務所（TEL：22-1404）
- ・高鍋保健所（TEL：22-1330）



健康福祉課 社会福祉係 河邊祐規子 主事

平成24年4月から、役場健康福祉課でも申請を受け付けます。対象者によって必要な書類が異なりますので、不明な点はお気軽にお問い合わせください。

高鍋町 健康福祉課
(TEL：26-2009)

利用できる駐車場

（この制度に賛同いただいている協力施設）
平成24年3月1日現在

アタックス高鍋店・マックスバリュ高鍋店・宮崎銀行高鍋支店・九州労働金庫高鍋支店・高鍋信用金庫本店・中崎歯科医院・高鍋商工会館・高鍋合同庁舎・高鍋総合庁舎・高鍋保健所・ルピナスパーク（宮崎県農業科学公園）・高鍋町役場・高鍋町健康づくりセンター・高鍋町老人福祉館・高鍋町老人福祉センター・高鍋町美術館・高鍋町中央公民館・高鍋町中央公民館別館



対象者について

次のうち、歩行困難または一時的に歩行困難と認められる方

◎身体障がい者（児童を含む）

身体障害者手帳の障害等級が下表の「対象等級」に該当する方

障害区分		対象等級
視覚障害		4級以上
平衡機能障害		5級以上
肢体不自由	上肢	2級以上
	下肢	4級以上
	体幹	3級以上
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	2級以上 移動機能 6級以上
心臓、じん臓もしくは呼吸器または膀胱もしくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫もしくは肝臓の機能障害	心臓機能障害	4級以上
	じん臓機能障害	
	膀胱または直腸の機能障害	
	小腸機能障害	
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	
	肝臓機能障害	

◎知的障がい者 療育手帳の障害の程度欄が「A」である方

◎精神障がい者 精神障害者保健福祉手帳の障害等級が「1級」である方

◎高齢者 介護保険の要介護状態区分が「要介護2」以上である方

◎難病患者（児童を含む）

特定疾患医療受給者（児童の場合は小児慢性特定疾患医療受給者）である方

◎妊産婦 産前4カ月～産後3カ月である方

◎けが人 けがにより、車いすや杖等を使用する方

**暴力のない
安全で安心なまちへ**

一月十六日、東児湯五町と高鍋警察署により暴力団排除措置を講ずるための連携に関する協定の合同調印式が、二月八日には、高鍋地区暴力団等追放協議会による「高鍋地区暴力追放推進大会」が行われました。私たち町民の明るく平和な生活が暴力団により脅かされることのないよう、次の「暴力追放三不運動」を推進し、安心して暮らせる地域社会をつくりましょう。

- ・暴力団を恐れない
- ・暴力団に金を出さない
- ・暴力団を利用しない



東児湯五町と高鍋警察署による合同調印式 (高鍋町役場)

春を呼びこんでくれた選手たち
高鍋町で春季キャンプ開催

二月十五日から二十三日までの関東学園大学硬式野球部を皮切りに、二月二十四日から三月四日までのJFE東日本硬式野球部、三月五日から十三日までの桐蔭横浜大学硬式野球部が、町営野球場と小丸河畔運動公園、屋内多目的広場で春季キャンプを行いました。滞在中は、町民と選手の皆さんとの交流も見られ、スポーツを通じての町の活性化を感じることができました。どのチームも暖かい高鍋で効果的に、技術力やチーム力向上のための実戦練習を行っていました。選手の皆さんの今後の活躍がとも楽しみます。

関東学園大学 硬式野球部

今年から、プロ野球の阪急とオリックスで投手だった谷良治さんが監督に就任。谷監督は「高鍋は群馬とは違い、暖かい風が少なくいい所。キャンプでは野球に集中し、今年こそは優勝を狙いたい」と抱負を語ってくれました。



① 気合が入った紅白戦 (町営野球場)
② 六つに分けた班で町内のゴミ拾いを行った選手の皆さん

JFE東日本 硬式野球部

青野達也監督は「人情あふれる町民の皆さんにふれて日本一の練習をしたい」、日南市出身で主将の落合紀紀さんは「昨年悔しい思いをしたので、会社や周りに人に感謝しながら今年こそは結果を出したい」と抱負を語ってくれました。



① 雨天でも安心！屋内多目的広場の練習
② 差し入れ餃子を美味しく味わった選手の皆さん

桐蔭横浜大学 硬式野球部

東日本大震災で部員の親族が亡くなるなど大きな影響を受けた同部。そんな中、野球ができる境遇を感謝する意味で被災地でのボランティアを行いました。そして昨秋はリーグ優勝を果たし、見事に明治神宮大会に出場しています。齊藤博久監督も江川大輝主将もそろって「感謝」という言葉を口にされ、その想いの深さを感じました。



① キャンプ歓迎式
② 「毎日最低千本！」選手自らが決めた厳しいノルマに挑む選手、皆さん、小丸河畔運動公園野球場

桐蔭横浜大学野球部で高鍋高校野球部出身の2人（甲川稔さんと宮越晃規さん）が汗を流していますが、さらに今春、関東学園大学野球部にも前田光紀さんが新1年生として入部します。3人とも春季キャンプを見て入学・入部を決めたとのこと。このキャンプが高鍋の野球少年にも大きな影響をもたらしている証拠ですね！

ガンバレ！高鍋の子どもたち！

「育英会」寄付

高鍋町自治公民館 連絡協議会 様

舞鶴公園桜まつり ご案内

桜のライトアップ期間
3月25日(日)～4月15日(日)

ステージイベント
4月8日(日)

今年も楽しいステージが予定されています。皆さんおそろいで舞鶴公園へお越しください。



せいぼサークル ご案内

毎週 木曜日 10時から (子育て支援)

親子で、園庭や教室でいっしょに遊ばせませんか。子育てで悩んでいる方の育児相談(無料)をしております。満2歳より就学前のお子様をお預かりいたします。保育時間 7:30～18:00 (毎日午前中、園庭を解放しています。)

高鍋カトリック聖母幼稚園
場所 ジョイアス横 電話 23-1500

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。
※町ホームページパナー広告も随時募集しています。◆お問い合わせ：政策推進課 情報政策係(TEL:26-2003)

東日本大震災から一年

平成二十三年三月十一日に発生した大地震から一年。大津波の被害により多数の死者や行方不明者を出したこの災害は、私たち町民にも大きな衝撃を与えました。宮崎県においては、日向灘地震や、四国から紀伊半島沖が震源域となる東南海・南海地震が発生した場合、高い確率で津波の被害を受ける恐れがあります。

これらのことから、町は、標高マップの作成や標高板の設置、津波訓練や出前講座(防災)を実施し、町民の皆さんの防災意識の向上に努めているところです。今後は、自助(自分の命は自分で守る)や共助(自分の地域は自分たちで守る)の推進を図り、町民自らが自然災害に対して危機感を持つことが大変重要です。



平成17年の台風14号の影響で水没した町営野球場。災害はいつ起こるか分からない



まちの話

◎百歳おめでとう
高鍋町畑田在住の矢野ヤチヨさんが元気に百歳を迎えました。「食事は美味しく、全部食べます」と笑顔で話すヤチヨさん。孫やひ孫が遊びに来て一緒に過ごすことが楽しみの一つだそうです。



しっかりと声で元気に話す 矢野ヤチヨさん

◎柿原さんの想いをつなぐ
高鍋町名譽町民の故柿原政一郎氏が設立した正幸会は、設立六十五周年にあたり、江戸末期の幕臣・勝海舟の書を町に贈り、町は先に寄贈された西郷隆盛の書とともに町歴史総合資料館に展示しました。また正幸会は、町立高鍋図書館に藩校明倫堂や柿原政一郎のコーナーを設けるなど、高鍋の貴重な歴史を今に伝えています。



勝海舟の書(右)と西郷隆盛の書

◎交通死亡事故ゼロ達成
高鍋町は、平成二十四年一月九日で交通死亡事故ゼロを一年間達成したことで、宮崎県交通安全対策推進本部から表彰を受けました。これまでの高鍋町の最長記録は一一六九日。記録更新はもちろん、大事な命を守るために一人一人が気をつけてハンドルを握りましょう。



表彰を受け、「官民一緒になって死亡事故ゼロを続けていきたい」と話す小澤町長(右)

◎より親しみやすい公園へ
高鍋町は平成二十二年度から、舞鶴公園の樹木伐採をはじめ、桜やアジサイの植栽などの整備を行っています。少しずつですが明るく彩(いろ)のある公園へと生まれ変わっていきます。町民の皆さん、高鍋の歴史を肌で感じながら舞鶴公園を散策してみませんか。



◎自分の生き方を考えました
二月、東西中学校で立志式が行われました。昔で言えば元服にあたる十四歳を迎えた皆さんは、これまでの自分を振り返り、個々の夢や目標を真剣に発表していました。



自分で書いた一文字を示しながら一人一人が真剣に発表をした高鍋東中学校2年生の皆さん



磯の香りを楽しみながら自分で焼くカキは最高ですね！(写真は2月24日に行われた「まちなか元気市」の様子)

◎天然カキをご賞味あれ！
高鍋の特産物といえば天然カキ。そのカキを自分で焼いて食べられるカキ小屋が蚊口浜とまちなかに登場しました。期間限定だったこの企画は、どこも大人気でした。

◎おめでとうございます
「宮崎県うまい米づくりコンクール」早期水稲の部知事賞「徳丸 拓郎様」
「宮崎県葉たばこ共進会の部知事賞」 郡 利夫様

◎元気のいい声がいっぱい
二月十九日、中央公民館別館駐車場で商人(あきんど)フェスタが行われました。多くの商人や来場者でにぎわった会場は、楽しそうな笑顔であふれていました。



多くの来場者が見守る中、マグロの解体ショーで見事な包丁さばきを見せた杉田友樹さん。この後、新鮮なマグロの刺身がふるまわれた



「地域再生には感動しかない。地域に補欠はない」など本気の地域づくりについて話した豊重哲郎さん

◎さわやかに二年ぶりの開催
三月四日、舞鶴ロードレース大会 in ルピナスが行われました。新燃岳噴火や鳥インフルエンザの影響で中止となった昨年の想いももった今大会。小雨の中でしたが、参加者はさわやかな汗を流していました。

わが町の宝物

みんな元気に育ってね。

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。
今回は、1月・2月の健診に来た元気なちびっこたちです！



たに かなた
谷 叶多 ちゃん



かぬまる れん
金丸 蓮 ちゃん



ひだか もか
日高 桃花 ちゃん



たなか あやは
田中 彩葉 ちゃん



うりゅう まな
瓜生 まな ちゃん



めら ひるな
米良 陽菜 ちゃん



めら なつき
米良 菜月 ちゃん



てたか あやね
樋高 絢音 ちゃん



いとう そうじ
伊藤 颯士 ちゃん



よこべ さよ
横部 彩世 ちゃん



つのだ えりな
角田 恵里奈 ちゃん



わきもと さな
脇本 紗菜 ちゃん



たなか てるま
田中 輝真 ちゃん



とだか さき
戸高 早葵 ちゃん



ひの だいち
日野 大地 ちゃん



いнома れんな
生駒 恋菜 ちゃん



いнома じゅんな
生駒 純菜 ちゃん



しよざき りんこ
正崎 凜子 ちゃん



さとう けいご
佐藤 圭悟 ちゃん



まつお たすく
松尾 毘 ちゃん



かわち ひより
河口 陽依 ちゃん



くろぎ
黒木 つほみ ちゃん



おがた やまと
緒方 大和 ちゃん



ひだか かいへい
日高 快晴 ちゃん



くろぎ ゆうな
黒木 優菜 ちゃん



たにくち とうま
谷口 斗真 ちゃん



なかの ゆうと
中野 結斗 ちゃん



ひらくわ こうりょう
平口 空遥 ちゃん



きんしょう りお
金城 理央 ちゃん



かたひら あおい
片渚 碧 ちゃん



おだ ゆきまさ
織田 志優 ちゃん



ごとう まな
後藤 愛奈 ちゃん



ながた さき
長田 紗希 ちゃん



あらい ひろき
荒井 博己 ちゃん



ひらえ そら
平江 爽来 ちゃん



きたじま れん
北嶋 蓮 ちゃん

広報たかなべ 2012. 3. 16 NO. 375

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003

<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。

人口と世帯数(3月1日現在・前月比)

人口	／	21,624人	(+ 8)
男性	／	10,246人	(- 2)
女性	／	11,378人	(+10)
世帯数	／	8,704世帯	(- 2)